

DWSグローバル新興国株投信

＜愛称：ブリック・プラス＞

-追加型株式投資信託/国際株式型（一般型）-

基準日：2007年8月31日

素顔のBRICs プラス

社団法人ロシアNIS貿易会・ロシアNIS経済研究所 調査役 服部倫卓

モスクワ地下鉄車内の風景

車中をもっぱら無為に過ごすロシア人

昨今の日本では、電車に乗っている時に携帯電話をいじったり、デジタルプレーヤーで音楽を聴いたりしている人が非常に多いですね。「ロシアではどうかな？」と思い、しばらく前に、モスクワの地下鉄で乗客をじっくりと観察してみたことがあります。驚いたことに、大多数の人は、文字通り何もしていませんでした。雑誌や本を読んでいる人は少ないですし、マンガ本などはそもそもこの国にはありません。日本と違って、吊り革広告があるわけでもないので、それを眺めて暇を紛らわすこともできません。結果、ほとんどの人が、目を閉じるか、虚空をじっと見つめているだけで、ちょっと怖い雰囲気でした。

ロシア人は電車内でケータイをいじったりしないのでしょうか？ もちろん、モスクワの市民であれば、ほぼ100%、携帯電話を持っています。しかし、多くのロシア人は通話とメールを多少やるだけです、それ以外の付加価値サービスなどはほとんど利用されていません。日本のように、老若男女、中毒のごとくケータイとにらめっこという光景は、ロシアにはありません。

ケータイ以外のデジタル小物はどうでしょう？ これについては、ロシアの調査機関が2006年秋にモスクワの地下鉄で実施した調査結果が発表されています。この調査によれば、モスクワ地下鉄の乗客のうち、デジタル音楽プレーヤー、スマートフォン、PDAなどの携帯電子機器を使用していた人の割合は、9.9%にすぎませんでした。乗車中に音楽やゲームを楽しむにしても、専用機器ではなく、携帯電話を利用していた人が多かったようです。

照明の暗さと騒音

いずれにしても、日本人の目から見ると、ロシア人は地下鉄でのひと時を無為に過ごすように感じられます。ただ、これには、大いに同情の余地があります。まず、ロシアの地下鉄車両は照明がかなり暗く、しかも、瞬間的に真っ暗になる時があります。あれでは、活字を読んだり、液晶画面を眺めたりという気になかなかならないでしょう。また、ロシアの地下鉄車内の騒音レベルは90～110デシベルにも達し、世界でも最もうるさい地下鉄の一つと言われています（日本では80デシベル程度）。この環境で音楽を楽しむには、プレーヤーのボリュームをかなり上げなければなりません。現にロシアでは、地下鉄でのプレーヤー音量の上げ過ぎが原因で難聴になる若者が増えているとも言われています。

ロシア人にとって地下鉄の乗車時間は、ポジティブに過ごすためのものではなく、ひたすら我慢の時ということなのでしょうか。

・当資料中の第三者のコメントは著者個人の見解であり、当社の運用方針、投資判断とは何ら関係がありません。また内容の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。

上記情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。投資信託のお申し込みに関しては、下記の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいませうお願い申し上げます。投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。販売会社が登録金融機関の場合、証券会社と異なり、投資者保護基金に加入していません。投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。運用状況により、分配金が支払われないこともあります。本資料に記載の内容は将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。投資信託は、株式、公社債などの値動きのある証券（外国証券には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。よって、保有期間中もしくは売却時の投資信託の価額はご購入時の価額を下回ることもあります。これに伴うリスクはお客様ご自身のご負担となります。なお、当資料はドイチェ・アセット・マネジメント株式会社によって作成された販売用資料であり、法令に基づく開示資料ではありません。取得の申込みに当たっては、販売会社より投資信託説明書（目録見書）をお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。当資料に記載されている個別の銘柄・企業名については、あくまでも参考として申し述べたものであり、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨するものではありません。